

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業があり、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。

市内企業のものづくり・人づくりを紹介！  
企業のちから

No33 The company in Shirakawa

(有)テクノパーツ  
TECHNOPARTS.LTD

住所：大信隈戸字柿ノ木原200  
事業内容：ワイヤー放電加工、金属プレス加工・金型製作、精密プレス品の試作・量産



電気の放電エネルギーを利用し  
ワイヤーで金属を巧みに加工



- 1 工場で作られている製品。HDDのトップカバーやコピー機の読み取りヘッド、車のCVTミッションで使われるオイルクーラーの部品も製造しています。
- 2 工場外観（第二工場）。来年には新しい工場を隣に増築する予定です。
- 3 従業員の皆さん。毎朝各部門でミーティングをし、作業工程を確認しています。
- 4 ワイヤー放電加工の機械。ワイヤーは髪の毛より細い0.05mmのものも使用しています。
- 5 プレス機で加工している様子。コピー機の部品は月に10万台、製造しています。
- 6 「引き受けた仕事は必ずやり遂げます」と話す菊地さん。

「私たちの会社は、ワイヤー放電加工やプレス加工で、金型や精密部品を製造しています。すべてが受注生産で、顧客の要望に合わせて納期や数量など、柔軟に対応しています」と話す代表取締役の菊地正さん。

テクノパーツは、平成12年に旧大信村で創業。ワイヤー放電加工（真鍮ワイヤーに電気を通し金属を溶かして切断する技術）で金型の製造を専門に事業を展開、プレス加工の導入に伴い、平成17年には隣接地に第二工場を増築しました。敷地面積は約495㎡で、従業員は22人、アルバイトのほかに障がいをもつ方を積極的に雇用し、社会進出の手助けをしています。

ワイヤー放電加工は、電気が通る材料であればどんなに硬いものでも切断できるため、従来の機械加工技術では不可能な金属も加工できます。また、金型の製造は精密さが求められることから、温度変化による金属の膨張などを抑えるため、常に室温は23度を維持するなど細心の注意を払っています。平成18年にはISO9001を取得し、納期や品質など顧客の満足を第一に考え行動するよう努めています。

「今まで培ってきた技術を基盤に、今後はさらに、ワイヤー放電加工の技術に磨きをかけて、様々な分野で製品作りをしていきたい」と菊地さんは目を輝かせながら話してくれました。

ふくしま destinations キャンペーン

ツーリズムガイド白河 推薦スポット⑧

しらかわの贈り物



私のお勧め!!  
白河神社本殿の棟紋

白河神社は白河関跡に境内があり、関の明神、二所関明神とも言われています。古墳時代の315年から存在する古く歴史のある神社です。

解説

仙台藩主伊達政宗と白河

政宗が白河に残した痕跡が幾つかあります。1つ目は妙閑寺の乙姫桜で、政宗が将軍家に献上するため持参した苗木の1本と言われています。樹齢約400年で通常の桜より花の色が濃く、比類のない美しさです。2つ目は元和元年（1615）に政宗が改築奉納した、白河関跡内にある白河神社本殿の棟紋で、伊達家の家紋である九曜星と縦三引きが刻まれています。ぜひ訪れて、政宗が白河に残した痕跡をたどってみたいはいかがでしょうか。

ツーリズムガイド白河では会員を募集しています。☎（公財）白河観光物産協会 ☎01147



ツーリズムガイド白河会員  
成井茂男さん Narui Shigeo

「いいね！」を押して市の情報をチェック



白河市公式ページ



https://www.facebook.com/city.shirakawa

Introduction of the cover

今月号の表紙

今月号の表紙は、篠宮勝美さん（白坂）から市に寄贈された門松です。篠宮さんは平成24年から市に門松一対を寄贈して下さっていて、今回で3回目になります。門松には縁起の良い松竹梅と、「難を転ずる」と言われる赤南天・白南天があしらわれています。年末年始にかけて、市役所の正面玄関に飾られています。